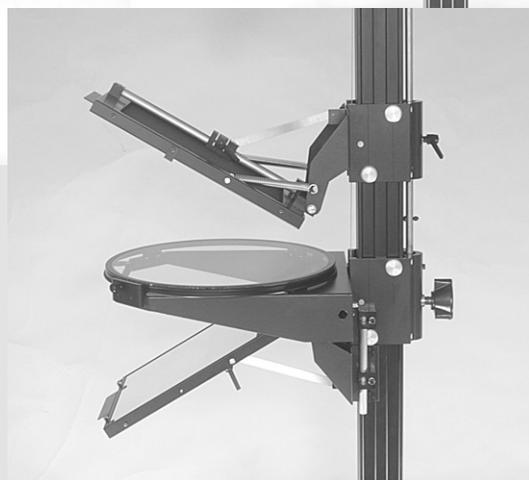
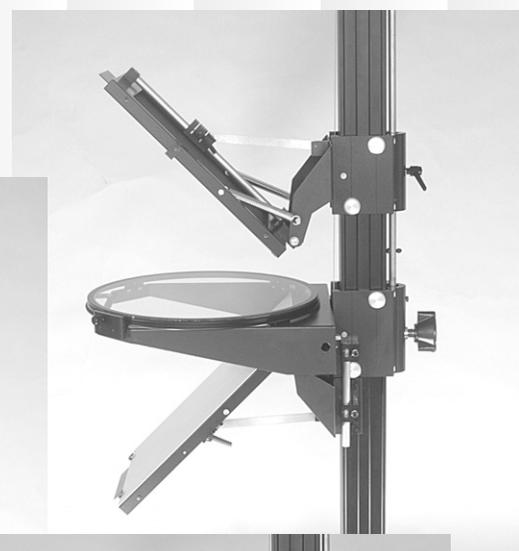


WISTA Arch-04 オブジェクトスタンド

遺物撮影には実績のある調査会社の協力を得て撮影現場の声を最大限吸収しました
対象物を動かさずに全方向から6面展開写真がとれる。長焦点で撮影すれば実測図も取れる精度。

PAT.P



特 徴

- ・ミラーは表面鏡で画像くっきり。ミラーならではの水平距離での上面撮影が可能。
- ・ガラスは白板ガラスを使用、色調整もらくらく。
- ・ミラーは角度調整自由なので三脚、カメラスタンドではカメラの角度調整でも撮影可能。通常は45°に設定。
- ・45°にはクリックがあり一発だし。
- ・ミラーはさらに上下独立で上下スライド可能。通常の撮影台としても使用可能。
- ・ガラス面には5°刻みの目盛りをプリントガラス面を回転させるだけでどの角度からも撮影できます。
- ・ガラス面も上下スライド可能、楽な姿勢で撮影できます。

用 途

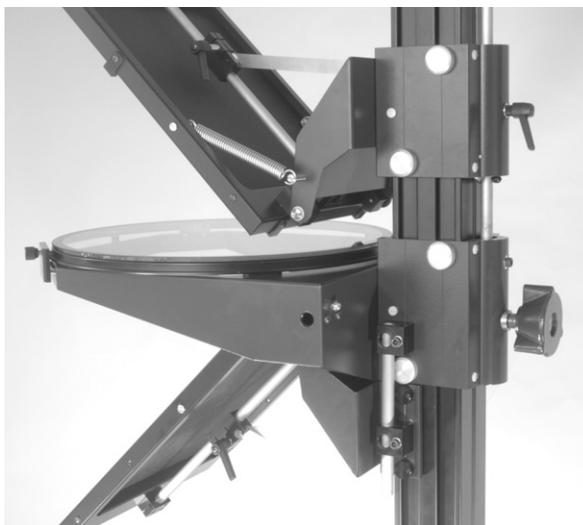
- ・商品撮影
- ・埋蔵文化財の土器・石器実測図作成では水平距離で長焦点撮影が可能で各面の精度が高く誤差は僅少。
立たないものでも被写体をガラス面に置いて正面、裏面、右側面を撮影。ガラス板を水平90°回転させて上面観。さらに水平90°回転させて左側面。もう水平90°回転させれば下面観。以上で6面撮影終了。
ガラス面に映した正面・裏面はデジカメ撮影ならば反転、アナログカメラならば裏焼きすればOK。
- ・回転ムービーも簡単作成。

お問い合わせ

株式会社ウイスタ 〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-6-14 03-3931-2222 Mail:WISTA@nifty.com
有限会社アルケーリサーチ 東京都板橋区中台1-33-1 03-3931-7141



上下反射鏡45度の基本ポジション



回転台には白ガラス（無色）を採用していますので表裏撮影でも色の調整をする必要がありません
また連続ムービー用撮影に便利な5度刻みの目盛が印刷されています



反射鏡をはね上げ、被写体をセット



オプションで撮影台に欠かせない照明ユニットを装着できます

操作部

回転台ベースには上下反射鏡の連結棒がセットされており、反射鏡フレームと回転台フレームをロックしておけば全体が上下移動、反射鏡フレームのロックを解除すれば反射鏡が単独で上下移動します。
上反射鏡はバランススプリングを採用して貴重な資料等の上に反射鏡が倒れ込まないように設計されています。

下に示したのは遺跡の発掘現場より出土した埋蔵文化財（黒曜石）です。遺物は何千点もの撮影が必要な上このように形状が複雑で立たない被写体がほとんどです。

さらに写真から実測図を作製する為には長焦点撮影が必要になりますが従来このような撮影には檜を組んでかなり高い位置から撮影する必要がありました。また表裏を正確に同じポジションで撮影することは事実上不可能でした。

Arch-04では反射鏡を使う事によってスタジオ内で水平方向での撮影を可能にしたばかりでなくセットした被写体には手を触れずに全方向からの撮影を、要求される条件（精度）を満たして実現しました。

反射鏡は角度調整が出来ますからこの機構を使えばカメラも同じポジションからパニング操作のみで表裏を簡単に撮影することも可能です。

回転台/反射鏡全体での上下移動
上下反射鏡はそれぞれ上下移動可能

